

先進的な取組事例1 新宿区3R推進協議会

●取組みの背景と経緯

ポイント：・本年4月に設立した新宿区3R推進協議会の中で、新宿らしい3Rの取組みを協議。
・これまでの事業者の取組みを活かし、これを地域がバックアップすることで、3R施策の定着を推進する。

- ・平成20年4月25日、新宿区における3Rの推進に向けた連携の核とするため、環境・清掃・消費者関係等の地域団体、スーパー・百貨店・コンビニ・商店街等の事業者、区の環境・清掃等関係部署を構成員とする「新宿区3R推進協議会」を立ち上げた。
- ・これまでも、区民団体においてマイバッグキャンペーン等に取り組んできた。また、各小売店は独自にレジ袋や手提袋の辞退の際にポイントカード会員にエコポイントを付与したり、スタンプカード制度の実施などを行ってきた。その他レジ袋等辞退札の設置や顧客への声かけ、使用する容器包装類の薄肉化など、色々な観点から容器包装類削減に取り組んできた。
- ・このような、これまで行われてきた取組みを活用しながら、従来個々に行ってきた「店側」の取組みと「区民（消費者）側」の活動とをつなぎ、3Rの推進を図る。

●取組み内容

ポイント：・レジ袋（紙袋）を辞退したことがレシート等に記されたものを、環境配慮行動が行われた「証拠」と捉える。（「見えるしくみ」と称する）
・「証拠」のレシート等を集めて、市民や区が主催するイベントなどで楽しく活用する。（「ほめあうしくみ」と称する）
・以上の2つのしくみをまとめて「新宿エコ自慢ポイント」と名づけ、参加する店舗、団体を広く募集する。

- ・現在、店舗によってはレジ袋（紙袋）を辞退した際、レシートにエコポイント等の印字がされたり、カードにスタンプが押印される。
- ・「新宿エコ自慢ポイント」とは、これらの表示を、環境配慮行動が行われたことの「証拠」として捉え（「見えるしくみ」）、この「証拠」のレシート等を集めて、区や環境保全団体等が主催するイベントなどで楽しく活用する（「ほめあうしくみ」というしくみのこと。活用の方法については、景品への交換ばかりではなく、ポイント競争をしたり、体験学習等を行ったり、区民が楽しく参加できる仕組みを行事主催者側が工夫していく。細部については、現在協議会で調整中。
- ・このしくみについては、準備が整い次第、対応できる事業者から順次開始する。ポイント活用作事としては、手始めに8月下旬の新宿区環境学習情報センター主催の夏休み環境親子イベントでの活用を予定している。
- ・今後も継続して「見える」しくみの実施店舗の拡大や「ほめあう」行事の企画を募集し、しくみの充実、拡大を図っていく。各々の情報は区のホームページ等で周知する。

●課題

ポイント：・事業者の業態や個々の店舗の事情によっては、統一的な取組みが難しい。
・ほめるしくみの充実が必要。
・中小小売店への拡大。

- ・事業者の業態や個々の店舗の事情によっては、エコ自慢ポイントに統一的に取り組むことが困難である。エコ自慢ポイントに限らず、さまざまな事業者の取組みを紹介、応援していくことが必要である。

- ・ エコ自慢ポイントの取り組みを盛り上げていくためには、ポイントを活用するしくみ（ほめるしくみ）について、多くのバラエティに富んだ企画が求められる。
- ・ 今後、中小小売店等への取り組みの周知、参加促進を図っていく。

●取り組みの様子（協議会及び構成団体個々の取り組み例）

マイバッグキャンペーン チラシ例



新宿区3R推進協議会



【まとめ】

- ・新宿区3R推進協議会の中で、新宿らしい3Rの取り組みを協議。
- ・これまでの事業者の取り組みを活かし、これを地域がバックアップすることで、3R施策の定着を推進する。
- ・「新宿エコ自慢ポイント」と名づけ、参加する店舗、団体を広く募集する。

お問合せ先
 新宿区環境清掃部生活環境課ごみ減量計画 主査 小柳典子
 〒160-4848 東京都新宿区歌舞伎町1-4-1
 電話番号 03-5273-3318 FAX 03-5273-4070 電子メール seikatsukan@city.shinjuku.tokyo.jp